

# 2025 年度総合的な探究の時間

## 探究フォーラムプログラム



## 開催概要

本フォーラムの開催は 2015 年より文部科学省が実施した事業スーパーグローバルハイスクール(略称:SGH)を起点とした探究成果報告会です。SGH 実施当時は、特に事業に精力的に取り組む生徒の報告会という位置づけのもと、毎年 1 月に東りいたみホール（伊丹市立文化会館）にて一部の生徒による成果報告会として実施しておりました。SGH 終了に伴う、また学習指導要領改訂による新授業「総合的な探究の時間」の設置に際して、一部の生徒だけの報告会から探究活動に取り組む生徒全員による相互報告会を兼ねた成果報告会に令和 2 年度より内容を更新して実施して参りました。

本校のスクールポリシーとして、グローバルリーダー（略称：GL）の育成を掲げています。GL とは、世界や地域の課題を自分の課題とし、解決に向けて探究するとともに、仲間と活動できる人物を指しています。本校では総合的な探究の時間を含む、すべての授業や行事で GL の育成に取り組んでいます。中でもこの総合的な探究の時間では 1・2 年生に分かれて課題研究を通じた GL の育成を目指しています。1 年生では地域で活躍している方にお話を伺い、そこで提示される地域課題の解決を目指した探究活動を行っています。2 年生では社会に広く存在する社会課題を発見し、その課題の解決の道筋を発見、創造するという探究活動を行っています。どちらもこの社会に生きる人間として、主体的に課題に立ち向かい、自分事として取り組むことができる地域社会のリーダーの育成を根底に置いた授業となっています。

## 発表について

1 年生 GLis 類型生徒が取り組む「サイエンス×探究Ⅰ」では起業家教育（アントレプレナーシップ教育）に基づいた課題の発見と解決を、2～8 組「×探究Ⅰ」では地域から講師をお招きし、提示された社会課題を解決する探究活動を行っています。どちらもまずは自分たちの暮らす地域に根差した探究活動を行っています。

2 年生は理系・ビジネスに特化した少人数ゼミ「サイエンス×探究Ⅱ」は、実験やプロトタイプの作成を通じて、日々の授業では扱うことのできない高度な実験やビジネスプランの作成を行っています。また個人の興味関心と SDGs を関連づけて社会課題の解決を目指す「×探究Ⅱ」は SDGs の 17 項目に基づいたゼミに分かれ、それぞれが社会課題の設定と解決に取り組んでいます。

本フォーラムでは 1・2 年生が取り組んできた社会課題へのアプローチの成果報告会として全員がポスター発表いたします。ご参加いただきました皆様の忌憚のないご意見やご質問、ご評価をお待ちしております。

## 発表方法

ポスターセッション形式：教室の前後にポスターを張り出し、発表を行います。発表は 10 分間となっております。発表後は積極的に質問をぶつけていただくと同時にコメントシートにご感想をご記入の上、発表者へ手渡しをお願い致します。

## お願い

- ・発表の際の写真・動画の撮影はご遠慮ください
- ・発表後は積極的な質疑応答をお願い致します。
- ・何かご不明な点が御座いましたら、中央渡り廊下のインフォメーションまでお越しください。

## 1 実施日時

令和8年2月5日(木)12:30~16:00

## 2 実施目的

- ①自分の研究について発表し、1年間の探究活動の総括を行う
- ②1・2年生全員が発表を見合い、生徒同士が学び合う場を設定する
- ③本校生の発表や質疑応答の様子を外部の方に参観してもらう機会とする

## 3 講評

神戸松蔭大学 人間科学部 ファッション・ハウジングデザイン学科

待田 昌二 教授

## 4 発表方法

- ・ポスターセッション形式（1, 2年生全員発表）

### (1)準備

- ・各学年の探究委員の先生は、11月末に発表班の合計数を集計、確認。総数に「ポスター番号」を割り振り、各班に通達。
- ・マグネットは各班三つ、ポスターと一緒に掲示場所へ持っていく。

### (2)発表方法

- ① 1ラウンドは20分（目安：発表10分・質疑応答5分・移動5分）
- ② ポスターをA1~60、B1~60、C1~60、D1~60に分け、順番に発表もしくは見学（各発表者は2回発表）
- ③ 各ラウンドで指定聴講するグループと自由聴講するグループをわける
- ④ 聴講者は評価シートを記入し、聴講した班に手渡しする
- ⑤ 8<sup>th</sup>ラウンド終了後、各班の代表者はポスターを回収し、職員室前に提出。

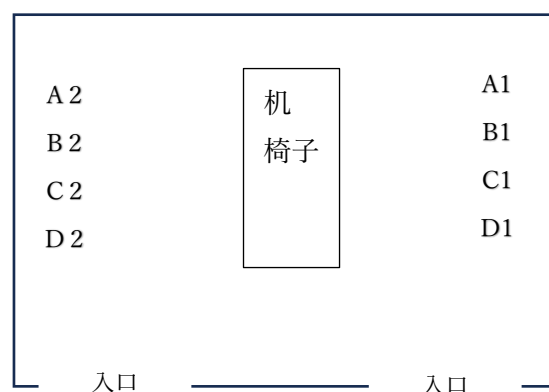
### (3)場所

各教室の前後黑板（ホワイトボード）にポスターを貼り付けて発表

\*前方に若い番号のポスターを貼り付け。窓側にA、廊下側にDを貼り付け。

408	407	406	405	404	403	402	401	400
37・38	39・40	41・42	43・44	45・46	47・48	49・50		
308	307	306	305	304	303	302	301	300
19・20	21・22	23・24	25・26	27・28	29・30	31・32	33・34	35・36
208	207	206	205	204	203	202	201	200
1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12	13・14	15・16	17・18

### (4)発表教室レイアウト



- \*教室前方に番号の若いポスターを貼り付け
- \*窓側にA、廊下側にDのポスターを貼り付け

# プログラム

時間	内容	備考
8:30~9:15	1 時間目	4 5 分短縮授業
9:25~10:10	2 時間目	
10:20~11:05	3 時間目	
11:15~12:00	4 時間目	探究フォーラム準備 ・各ゼミに分かれて発表準備 (準備内容) ・班員確認 ・ポスター受け渡しと確認 ・発表リハーサル ・発表教室へポスター貼り付けと各教室セッティング
12:00~12:45	昼休み	・昼休みを利用して各自荷物を指定の教室へ ・昼休みには教室を空にしておく ・12:50 に発表/聴講ポスター前に集合
12:30~12:50	準備・一般受付	
12:50~13:00	開会	放送にて開会挨拶・注意
13:00~13:20	1 <sup>st</sup> ラウンド 発表:A	指定聴講:B 自由聴講:CD ＊一般聴講者は自由聴講
13:20~13:40	2 <sup>nd</sup> ラウンド 発表:B	指定聴講:C 自由聴講:AD ＊一般聴講者は自由聴講
13:40~14:00	3 <sup>rd</sup> ラウンド 発表:C	指定聴講:D 自由聴講:AB ＊一般聴講者は自由聴講
14:00~14:20	4 <sup>th</sup> ラウンド 発表:D	指定聴講:A 自由聴講:BC ＊一般聴講者は自由聴講
14:20~14:40	5 <sup>th</sup> ラウンド 発表:A	指定聴講:C 自由聴講:BD ＊一般聴講者は自由聴講
14:40~15:00	6 <sup>th</sup> ラウンド 発表:B	指定聴講:D 自由聴講:AC ＊一般聴講者は自由聴講
15:00~15:20	7 <sup>th</sup> ラウンド 発表:C	指定聴講:A 自由聴講:BD ＊一般聴講者は自由聴講
15:20~15:35	8 <sup>th</sup> ラウンド 発表:D	指定聴講:B 自由聴講:AC ＊一般聴講者は自由聴講
15:40~16:00	ポスター撤収後、体育館へ	講評および閉会式 ＊閉会式後、生徒探究委員は教室復元

1st・5thラウンド				
属性	教室	グループ番号	発表タイトル	発表要旨
×探究Ⅱ	208	A01	メイクってほんとに楽しい！CAN MAKE 県高！	メイクに興味はありますか？アンケートの結果、メイクをしている男性の割合はメイクをしている女性の割合より圧倒的に少ないと分かり、私たちはみんながメイクを楽しめるよう、メンズメイクについて探求しました。
×探究Ⅱ	208	A02	自由な恋愛をするためには	私たちは日本の恋愛について注目した。その現状を調べ、県高生にLGBTQIについての知識や同性愛へのイメージについてアンケートを行った。その結果、LGBTQの意味を知っている割合は7割程度にとどまり同性愛に違和感を感じる人が一定数いることが分かった。今後は今ある偏見を減らせるような取り組みが必要である。
×探究Ⅱ	207	A03	日本の子どもの貧困の現状	私たちは日本では現在子どもの貧困率が大きな問題となっているため、世界との取り組みの違いを調べ、イギリスでは「福祉から就労へ」に基づく雇用対策や給付と就労を結びつける社会福祉制度を実施しており、それらをヒントに日本の課題を解決する方法を探究することにした。
×探究Ⅱ	207	A04	流行×SDGs	私たちは生徒が流行をどのように知り、受け取り、行動に影響を受けているのかを明らかにすることを目的とし、また流行とSDGsがどの程度関わっているかを調べた。流行は主にSNSから広がり、環境への配慮は意識されつつも行動には結びつきにくいということをこの探求で明らかにしました。
×探究Ⅱ	206	A05	効率よく脱獄する方法	私たち正しい脱獄の方法を皆さんに教えます。というのは半分嘘で、私たちが囚人になりきって効率の良い脱獄の方法を考えることでその脱獄ルートを対策し、脱獄犯による刑務所からの脱獄を防止する対策を練りました。
×探究Ⅱ	206	A06	スポーツ×心理×言葉 掛け声はパフォーマンスに影響するのか	私たちは過去に掛け声によってスポーツにおけるパフォーマンスが変化した。なぜ掛け声によって心理状況が変化しプレーに影響が出るのかを調べた。その結果スポーツにおける効果的な掛け声を発見することに成功した。
×探究Ⅱ	205	A07	ユニフォームのデザインによる人気の相関性	近年ユニフォームのファッション化が進み、大衆的な物になってきている。アンケートをとった結果、シンプルで明るい色が好まれる傾向があった。それを考慮してもっともデザイン性のあるユニフォームを考えました。
×探究Ⅱ	205	A08	ごみラーメン	フードロス削減のために、家庭で廃棄予定の食材を使って、美味しいかつ手軽に作れるラーメンを考えた。
×探究Ⅱ	204	A09	AIと教師の関係性	AIが発達してきている中で将来のAIの役目とそれに対する自分たちへの影響について調べ、本校の79回生にアンケートをとったところ多くの生徒が「AIは教師の役割を100%担うことは難しい」と回答した。そのためよりよいAIの教育的活用方法について探究した。
×探究Ⅱ	204	A10	イラスト・マンガで暗記科目を覚えやすく！	私たちは暗記科目のより良い勉強法を見つけるため、学習マンガに着目して、暗記科目の勉強法にイラストやマンガを利用することで記憶の定着に違いが出るのかを調べることにした。その結果、マンガがあるとマンガなしでは差はほとんど出なかったが、人名の暗記に対して、印象に残りやすいのは漫画を読むことだということがわかった。
×探究Ⅱ	203	A11	運動の重要性	部活をしている人としていない人の体力の増減を約1.6kmのタイムの変化をもとに調べ、部活をすることによる体力ののびや、週2の体育は部活をしていない人の体力の向上につながっているのかを探求しています。
×探究Ⅱ	203	A12	読書と学習の関連性	近年若者の読書時間が減少傾向にあることを課題として解決のため改めて読書の有用性を考查を利用して読書時間と点数の増減を比較示していく。結果読書の時間と教科ごとの考查の順位を比較していくと読書の有無で大きく左右されることがわかった。
×探究Ⅱ	202	A13	最強の生存戦略	「キャラ作り」は戦略だ！表情や声を操る「印象操作」の実験により、相手の反応だけでなく自分自身の幸福度まで劇的に変化することを証明。演技で人生を好転させる、最強の生存戦略。知らないとい人生損するか？
×探究Ⅱ	202	A14	3年になる前に知っておきたい受験のヒント	私たちはスマホ依存症の解消とそれに伴い成績の向上について探求をしました。2学期の中間試験と期末試験を対象にスマホの使用時間と試験の順位を比較し、その関係性を考察しました。
×探究Ⅱ	201	A15	自分たちの住んでいる市町村特有の苗字とその土地の歴史の関係性について	自分たちが住んでいる市町村（伊丹市、川辺郡、宝塚市、西宮市）特有にある苗字に関連する歴史、由来、伝統、文化を調べそれぞれの違いや共通点の理解を深める
×探究Ⅱ	201	A16	人はなぜ前の席を避けるのか？（心理から見る学びやすい教室）	生徒はなぜ前の席を嫌がるのか、またどのような座席配置が学習に適しているのかを調べ、学習効果を高める取り組みを考えた。
×探究Ⅱ	200	A17	城崎温泉をたのしむために	城崎温泉のかかえる課題を炙り出し、楽しむためのマップや施設を紹介し、兵庫県北部の経済を支えたい！
×探究Ⅱ	200	A18	日本と海外のSNSの違い	私たちにとって身近なものになっているSNSが、ほかの国では、どのくらいの利用率でどのようなアプリが人気なのか、先進国と発展途上国で分けるとどのような差が生まれるのか？
×探究Ⅱ	308	A19	夢と心の関係	私たちはなぜ夢を見るのでしょうか。夢の内容は心の状態とどのように関係しているのだろうか。自分の体験をもとに、感情が夢に出る影響を調べ、夢を通して心の動きを理解することを目指す
×探究Ⅱ	308	A20	睡眠の質を上げるには	高校生はいそがしく睡眠時間の確保が難しいと考えたので、睡眠時間が多少少なくても睡眠の質を上げることで疲れをいやそうと思い、そこで自分たち3人が様々な実験を通して編み出した睡眠法を伝えて世の中の高校生がよりよい日常を過ごせることを祈る発表。
×探究Ⅱ	307	A21	おじいちゃんおばあちゃんもマック？	ファストフードは健康に悪いイメージがあったが、高齢者に焦点を当ててマクドナルドのメニューを提案することによってファストフードも上手に利用すれば健康改善に役立つことを探求しました
×探究Ⅱ	307	A22	経済効果	野球の1シーズンで動くお金や優勝した時にどれほど利益が出るのかなどを阪神タイガースと甲子園に絞って調べて、こういった工夫がされているのか、実際にどれほどの経済効果が出ているのかを探求しました
×探究Ⅱ	306	A23	お菓子パッケージデザインの魅力	日本には数万種類のお菓子が存在しています。しかし、どのお菓子パッケージにも特徴がありデザインが違いますよね。（フォントや配色など、...）今回はそんなお菓子パッケージデザインについて探求しました。
×探究Ⅱ	306	A24	不登校児の親友が望む環境とは	年々増え続ける不登校児の問題について注目して探求してみました。不登校児に対する地域の取り組みの効果を調べ今後の変化について考察しました。
×探究Ⅱ	305	A25	みんなのわくわくライフ	駅の改札が狭い、段差で車いすの通行が不可。この2つの問題があるものを設置することによって解決する。結果的に高齢者など社会的弱者が暮らしやすい社会になる。

1st・5thラウンド				
属性	教室	グループ番号	発表タイトル	発表要旨
×探究Ⅱ	305	A26	アニマルセラピー with life	近年増加傾向にある精神疾患をアニマルセラピーを用いて解決するにあたって、なぜアニマルセラピーが普及していないか、アニマルセラピーに向いている動物を提案します。
×探究Ⅱ	304	A27	恋愛をすることは幸福感にどう影響をもたらすのか	恋愛は私たちに、身近で重要な存在であり、幸福感を高める可能性がある。本探求では恋愛による感情について調査した結果、肯定意見と否定意見がほぼ同程度であった。恋愛は幸福感に良い面と悪い面の両方をもち、幸せは恋愛の有無に左右されないかと考えられる。
×探究Ⅱ	304	A28	食べ物を無駄にしないダイエット～フードロス×ダイエット～	社会問題とされているフードロス問題と健康な食事をとることを掛け合わせたダイエット法について。
サイエンス×探究Ⅰ	303	A29	放課後おたすけ隊!!	働く親の負担軽減と孤立解消を目指し、高校を拠点とした交流の場を構築する。高校生が学習支援や夕食提供、星空観察を行い、親子の時間創出と親同士の情報共有を促進。
×探究Ⅰ	303	A30	世界中の人が安心して利用できる社員食堂～宗教の壁を超えた日本の食事～	外国人社員が安心して日本で働くには、食のサポートが重要であるから、世界中の人が安心して利用できる社員食堂とはどういふものか考える。
×探究Ⅰ	302	A31	未来をつくる子ども食堂～みんなて育てる地域のあたたかい場所～	私たちは全国で子ども食堂を増やすべきか減らすべきか注目した。現状を調べ、ボランティア活動をしつつ、増やすべきと分かった。今後は認知度の向上が必要である。
サイエンス×探究Ⅰ	302	A32	公園から街をよりよく	遊び場の制限がきっかけです。対象は公園の利用者と周辺の住民です。目的は遊びやすい環境をつくり、地域内の交流を促進することです。対象者の意見交換の場をつくり、若者が取りまとめるのがアイデアです。
×探究Ⅰ	301	A33	安全で安心な社会	伊丹市役所の担当の方に安全で安心な社会の現状と課題を聞くことで、今の私たちができることを考えました。
×探究Ⅰ	301	A34	現代の食品ロス対策～先端技術を使った食品ロス対策～	食品ロス対策として先端技術がどのように使われているのか、使用するメリット、デメリットは何か調べる。
×探究Ⅰ	300	A35	子ども食堂の意義や実態～共生食堂通じる地域の交流を増やすには～	私たちの班は、子ども食堂の認知は高まっているが、地域全体のつながりの場所が減少していることに注目した。子ども食堂の利用経験がある人ない人をそれぞれにアンケートをとり、地域のつながりの場所として適切なのはどんなところなのかを考えた。
×探究Ⅰ	300	A36	ハート基金とアプリの役割と可能性	神戸ハート基金のアプリは支援を身近に広げる役割を持つ
サイエンス×探究Ⅰ	408	A37	食と芸術でつなぐ文化財の未来	私たちの班は、食と芸術による文化財保全をテーマとし、その中でも今回は神社に注目し、若者が少ない現状を踏まえ、文化財への関心を高め次世代へ継承するためのイベント化を目指して探求しました。
×探究Ⅰ	408	A38	現代の食品ロス対策～先端技術を使った食品ロス対策～	先端技術が今の社会でどのように使用されているか
×探究Ⅰ	407	A39	子ども食堂は「量」か「質」か～拡大と改善のどちらを優先するべきかを考える～	私たちは子ども食堂の量と質に注目した。現状を調べ、どちらを優先すべきかをさぐるためにデータ調査を行った。
×探究Ⅰ	407	A40	その10円、未来にワープします	災害への備え不足の解決とコープこうべのハート基金活動等について
×探究Ⅰ	406	A41	自己肯定感	障害者の自己肯定感について探究する。
×探究Ⅰ	406	A42	面と向かわずに不満を言えるような制度を作れば快適に過ごせる	直接面と向かって話し合うよりも本音が言いやすいから、「入居者専用窓口」などの制度を利用したりして、お互いの意見を尊重してより良いシェアハウスにする。
×探究Ⅰ	405	A43	続けることの大変さ～子ども食堂の運営費～	私たちは子ども食堂の運営資金に注目し、ネットで調査を行った。その結果、自治体からの補助金に加え、クラウドファンディングなどによる民間寄付が子ども食堂の活動を支えていることが分かった。しかし、依然として多くの子ども食堂が資金獲得に苦心しているのが現状である。子どもたちの居場所を守り続けるためには、既存の枠組みを超え、さらなる支援の輪を社会全体で広げていくことが必要であると考える。
×探究Ⅰ	405	A44	酵母と工房	若者の健康志向の高まりによる酒離れを加速させないために小さい頃からお酒に触れる必要があると考えた。その結果、若者のお酒に対するイメージを知ることができた。
×探究Ⅰ	404	A45	地域野菜を手軽に届けるには～オッティモな野菜を身近に～	野菜自動販売機を活用することによりもっと地域野菜を身近にできるのではないかと
×探究Ⅰ	404	A46	仲良くなって時間感覚を共有しよう!!	多国籍のシェアハウスにおいて「時間感覚の違い」に悩まされるのではと思った。相手のことをよく知るためには仲良くなるのが大切で、仲良くなるために多面的な視点で相手の立場に立って考え、尊重する「認識的な思いやり」を持ってみる。
×探究Ⅰ	403	A47	日本と外国の食文化の違い～マナーについて～	外国と日本の食べる時のマナーの違いを調べて、解決策を出す。
×探究Ⅰ	403	A48	若者の日本酒の認知度について	若者が日本酒を飲まない理由を調べ、味や値段などさまざまな理由があった。
×探究Ⅰ	402	A49	65歳が支える農業の現実～若い力で農業を未来につなぐため	私たちの班は農業従事者の高齢化について注目した
×探究Ⅰ	402	A50	シェアハウスから広がるグローバルな世界	文化の違いによって起こるシェアハウスに対しての不満などをシェアハウスを始めるときに同居する人それぞれの文化を体験し、解消する。

2nd・6thラウンド				
属性	教室	グループ番号	発表タイトル	発表要旨
×探究Ⅱ	208	B01	ゲームが与える高校生の影響～ゲームを使った教育～	私たち大幅な学力低下に注目して、これ以上の低下をビデオゲームで防止することが可能ではないかと思い、関連する論文や書籍などを読み、実際に軽いテストなどを行った。だが、ゲームに対する偏見により教育に取り入れることは少し難しいことが分かった。
×探究Ⅱ	208	B02	リーダーシップの役割と育成法	私たちは日本人のリーダーが不足しているという状況や日本人は失敗を恐れ責任を負うことを嫌うという性格を変えたいと思い、この探求を選びました。ネット上の論文やサイトを見て、世の中の人たちはどのようなリーダーを求めているのか、好まないのかを調べた。提案した方法に因ってできるリーダーがほかの人を率いることで生産性が上がり、社会全体が成長することが望める。
×探究Ⅱ	207	B03	J-popで若者の鬱を緩和する	近年増加している若者の精神疾患患者。鬱を緩和するために、音楽療法という治療法がある。受動的音楽療法による鬱病治療は本当に効果があるのか、どのような変化が起こるのか実験を通して調べた。
×探究Ⅱ	207	B04	犯罪心理で考えるいじめ	日本の大きな社会問題であるいじめについて、心理的に犯罪の心や行動を科学的に研究する学問である犯罪心理の視点からいじめの加害者について調べ、どうすればいじめが減るのかを考えました。
×探究Ⅱ	206	B05	睡眠とトレーニングの関係	寝る前に体をうごかす事が睡眠の質にどのように影響するのか。
×探究Ⅱ	206	B06	MBTIとSNSの関連性	SNSで起こる炎上や現実のコミュニケーション障害に着目し、MBTI(性格タイプ)との関連を探ります。発言の仕方や受け取り方の違いが、なぜ炎上や対立を招くのかを分析します。
×探究Ⅱ	205	B07	ディズニーが描く女性が輝く社会へ	日本では政治面でのジェンダー格差が大きく、女性の意見が反映されにくいことが問題です。男女関係なく、だれもが声を上げやすい社会を実現するために、女性が輝く社会が多く描かれるディズニー作品に着目し、その視点を使って解決策を提示します。
×探究Ⅱ	205	B08	規格外果物を届ける!	私たちは廃棄される規格外果物に注目した。その中でも青みかんの廃棄に焦点をあてて調べた。その結果、廃棄される青みかんの様々な活用方法を見つけた。今後は日常でも積極的に活用していきたい。
×探究Ⅱ	204	B09	水の運び方	アフリカの子どもたちが負担を少なくして水を運ぶ方法
×探究Ⅱ	204	B10	毎日勉強生活 ～勉強しよう～	世間一般的に良い・悪いとされている勉強方法を隅から隅へと試し、本当にそうなのか、あるいは最適な勉強方法がどのようなものなのかを探りました。
×探究Ⅱ	203	B11	ゲームと健康の関係	僕たちはゲームと精神、身体的悪影響について注目した。現状を調べ、実際の症例をもとに適切な制限時間などを考察することができた。今後はゲームの使用時間を自身で管理できる使い方を確立することが必要。
×探究Ⅱ	203	B12	運命の相手をゲットしよう!♡	LGBTQについて説明し、マッチングアプリにどのような影響があるのか、どうしたらより快適に使えるのかを研究し、発表する。
×探究Ⅱ	202	B13	なぜ懐かしいものが再び流行するのか?	Y2Kファッションやシール交換、たまごっちなど、過去に流行したアイテムが再びZ世代を中心に注目を集めています。これらの現象がなぜ起こるのか原因を明らかにし、持続可能な消費行動について考えます。
×探究Ⅱ	202	B14	アイスの健康への影響	本研究では、アイスが健康に与える影響について調べました。アイスのメリットから健康リスク、賢い選び方や食べ方などからおすすめの健康志向アイスを教えます。
×探究Ⅱ	201	B15	え、結局どこが最強なん?	みんなはどのコンビニがスキ??ローソン・セブン・ファミマでどこが一番最強なのか!?
×探究Ⅱ	201	B16	学生年代の自殺をなくすために	深刻な社会問題となっている学生年代の自殺の現状を知り、危機感を覚え、学生の視点をいかし、問題点や解決策を考えました。
×探究Ⅱ	200	B17	ドキドキを抑える!心拍数コントロール術	私たちは試合でのパフォーマンス向上のため2つの研究を行いました。1つ目は緊張状態のパフォーマンスと心拍数は関連あるのかについて日頃の練習と大会の心拍数と結果を比較し、2つ目は心拍数を抑えるためには何が効果的かについて研究しました。
×探究Ⅱ	200	B18	ADHDの悩みを手助けする道具を考える	ADHD患者の片付けが苦手という悩みを手助けするためにADHDの特性から、リュックのデザインを考え、素材、形状を考える。
×探究Ⅱ	308	B19	無断AI学習を食い止めた	近年誰でも簡単にAIを使用できるようになり、AIが原因のネットトラブルを耳にするようになりました。人間の常識や著作権など、様々な視点からAIの穴を探していきます。
×探究Ⅱ	308	B20	音楽が心身に与える影響について	私は健康の中でも精神症に関する健康に目を向け、音楽という特定の方法で、どのような影響があるのかを調べた結果、主に心の変化に影響があり、そこから体の変化へと繋がった。ただし、人によって効果には個人差がある。
×探究Ⅱ	307	B21	金欠JKによるプチブラでも高見えする方法♡	万年金欠、常に低予算コーデでも「それどこ服?」と聞かれた!そんな願いを叶えるためにプチブラでも高見えするコーデの組み方を探求しました。
×探究Ⅱ	307	B22	AIは学習の役に立つのか	私たちはAI使用の有無で学習効果に差が出るのか実験した。その結果、AI活用が有効と判明した。今後はより有効なAIの活用法を模索していく。
×探究Ⅱ	306	B23	嫌いな食べ物をおいしく食べる!	私たちは嫌いな食べ物をおいしく食べられるようになりたと思った。今回はきのこを使って細かく刻む、好きな食材と合わせるという2つの方法で調理した。そして、どちらの調理方法がおいしく食べられるかを研究した。
×探究Ⅱ	306	B24	大手コンビニ3社の強みとコンビニの使い方の是非	コンビニを使う目的別で使い分けのメリットはあるのだろうか?この疑問に対して、私たちは商品数、周りの人たちの感想という2つの視点で各コンビニの強みを探り、使い分けの是非について考えました。
×探究Ⅱ	305	B25	様々な50m走	いろいろな方法で50m走の実験をして、速くなる方法を導き出し、みんなが速く走れるように貢献する。

2nd・6thラウンド				
属性	教室	グループ番号	発表タイトル	発表要旨
×探究Ⅱ	305	B26	朝気持ちよく起きれる方法は？	朝気持ちよく起きられる条件を明らかにするために、スマートウォッチを利用し睡眠スコアと就寝前の行動の関係性についての発表を行います。
×探究Ⅱ	304	B27	レッドブルは本当に翼を授けてくれるのか	エナジードリンク飲用前後で高校生4名の運動成績を比較しました。50m走や反復横跳びなどの短時間運動を測定し、記録の変化からの効果の有無を探りました。体感ではなく、数字で”翼”の正体を明らかにします。
×探究Ⅱ	304	B28	音楽が人間の身体パフォーマンスに与える影響	あなたは音楽によってどのような効果が得られると思いますか？私たちは身体能力の向上に焦点を当てて探求しました。果たして音楽のジャンルによって持久走のタイムは早くなるのか!?
×探究Ⅰ	303	B29	外国人が働きやすい環境づくり	バスの減便などが起きている中で外国人が日本で働きやすくするには何が必要かを調べる。
サイエンス×探究Ⅰ	303	B30	高齢者と若者をつなげよう	私たちは近年深刻化している高齢者の社会的孤立に目を向け、元気な高齢者からフレイルの人々が再び社会と関わり、繋がりを取り戻すために若者ができることについて発表します。
×探究Ⅰ	302	B31	農業における労働者不足問題とその解決方法について	主にスマート農業に注目して労働者不足について調べる
×探究Ⅰ	302	B32	地域コミュニティ	障害者の社会参画と自立
×探究Ⅰ	301	B33	オーガニック農法と食品ロスのつながりとは？	メリットと課題はなにかを調べる
サイエンス×探究Ⅰ	301	B34	「りふれあ」で創る子育て支援の新しい形	子育て世代の負担を減らすため、若者が小さな子どもを預かる「りふれあ」を提案します。親に休息を、学生に実践教育の場を提供し、次世代の保育人材を育成します。
×探究Ⅰ	300	B35	超高齢社会・少子高齢化	超高齢社会・少子高齢化に対して理解を深め、対策を考える。
×探究Ⅰ	300	B36	しょうがいのある人の幸せ みなさんの幸せ～しょうがい者理解～	しょうがい者理解
×探究Ⅰ	408	B37	サプライチェーンの見直し	サプライチェーンと企業の競争率の見直し
サイエンス×探究Ⅰ	408	B38	“錯覚”で人を救う!?	私たちの班は、登下校時の自転車事故に着目しました。そこで、日々のヒヤリハットを減らすため、身の回りで使われている「ナッジ」を取り入れることで、安心安全で住みやすい街になると考えました。
×探究Ⅰ	407	B39	支援制度の知名度をあげるためには～支援したくてもできない人をなくすための取り組み～	調査を通して企業の活動や制度を人々に伝え、支えあうことができる地域づくりを目指す。
×探究Ⅰ	407	B40	だれもが活躍できる社会を目指して	障害のある人の社会参加
×探究Ⅰ	406	B41	大量廃棄はどうしたら減らせるのか	伊丹市では現在食品ロスが減少しています。そこで、食品ロスの内訳や伊丹市の取り組みについて調べ、どうすればさらに食品ロスを減らせるかを考えてみました。
×探究Ⅰ	406	B42	次の世代につなぐ子ども食堂の運営～居場所づくりと人手不足の解消～	子ども食堂の人手不足に注目し、居場所づくりとしての役割を調べる。地域の人々が参加しやすい仕組みを考え、継続的な運営方法を探る。
×探究Ⅰ	405	B43	日本酒を100年後まで残すために ～孫の世代までつなげる～	日本酒を100年後まで残すためにどのような工夫をすれば良いか研究しました。
×探究Ⅰ	405	B44	若者が興味をもつ日本の農業	高齢化が進む日本の農業で若者の関心を高めるため、現状の課題と新たな取り組みを調査する
×探究Ⅰ	404	B45	プログラミングで解決させる言語の壁	海外のシェアハウスに住むなどの状況で特に大きな問題になるのは言語が通じないことだと考えた。そしてそれを翻訳機能の付いたチャットアプリの作成、使用によって解決できないか考えた。
×探究Ⅰ	404	B46	外国人運転手と食の課題 ～長く働くために必要な食のサポートとは～	文化・宗教に合わせた食事 安心して食べられる場所の用意
×探究Ⅰ	403	B47	地元小売店と酒造のつながり ～酒ツーリズムについて～	地元の小売店や酒造にいくつかの質問をし、現状を細かくとめました。
×探究Ⅰ	403	B48	農地面積の減少 ～伊丹市における持続な耕地の拡大～	耕地面積が減少しているという問題を主にデータをもとに分析・考察する方法で調査をして耕作放棄地などを再利用するとい解決策を得た
×探究Ⅰ	402	B49	口論になった時の対処法	国が違う人たちの間で口論になった場合、互いの文化を尊重しつつ、どのような方法で対処をするのがいいのか、また、どのようなことで口論になるのか具体的な例をあげてみる。



3rd・7thラウンド				
属性	教室	グループ番号	発表タイトル	発表要旨
×探究Ⅱ	208	C01	MBTIは恋の取扱説明書になるのか	私たちは女子高校生50人にMBTIと恋愛についてのアンケートを行い、性格タイプと恋愛の考え方や行動のつながりやMBTIは恋愛にどのように関係しているのかを調べました。
×探究Ⅱ	208	C02	ばよ卒プロジェクト	体型を気にしてしまう高校生に向けて、心身ともに健康に効果的にダイエットができるような方法を探索しました。食事、運動などを変えて実験しました。
×探究Ⅱ	207	C03	音楽をさきながら作業ははかどるのか	音楽を聴きながら作業したい!という思いがあったため、作業中に聴く音楽が作業効率に影響するのかタイピングを利用して検証してみました。
×探究Ⅱ	207	C04	私たち二人が面白いと感じたアニメがなぜ人気にならなかったのか	私たちが選んだ4作品のアニメがなぜ人気にならなかったのかを、様々な考察を通してアンケートを取り、まとめました。
×探究Ⅱ	206	C05	最も集中できる勉強法	集中できる勉強法を調べたら、ネットでたくさんの情報が出てきます。しかし、どの勉強法だと最も集中できるのかを検証しているものはありませんでした。そこで実際にその勉強法を実践し、どれなら最も勉強に集中できるか突き止めました。
×探究Ⅱ	206	C06	生成系AIについて	近年、AIの成長が著しい。その中でも生成系AIが日常的に使用されているのでその使い方を知ろう。
×探究Ⅱ	205	C07	築山でイルミネーション完全版	ボタニカルライトで県立伊丹の築山という場所で実際に発電できるのかを検証し、県立伊丹高校の魅力アップや生徒の地球環境保護意識の向上を目指す。
×探究Ⅱ	205	C08	疲労とパフォーマンスの関係	僕たちの班は、疲労とパフォーマンスの関係について探索しました。研究内容は部活のある週と部活のない週とのジャンプ力、短距離走での記録がどれほど違うのかを調べ、疲労とパフォーマンスの関係を明らかにしました。
×探究Ⅱ	204	C09	転売ヤーを成敗ヤー!	あなたは転売ヤーに対してどのようなイメージを持っているだろうか。最近は転売ヤーによって欲しいものを買えない人が多くいる。そのような人たちを少しでも減らすために、転売ヤーの転売対策、改善策を考えた。
×探究Ⅱ	204	C10	美容系 Tankyu-ver.、肌荒れ救急救命士	今回、私たちが探索しているのは、「思春期に起こりやすい肌トラブル」についてです!!集めたアンケートとデータから肌トラブルの根本を調査した結果、、、まさかの結末に、、、!!
×探究Ⅱ	203	C11	勉強に最適な音楽とは?アーティスト別に探る集中力との関係	皆さんは勉強するときに音楽を聴きますか。また、その時にどの音楽を聴くか迷ったりしたことはありませんか。今回僕たちはそういった悩みを解決し、さらに勉強に集中できるような探索を行いました。
×探究Ⅱ	203	C12	バスタ橋 ～重りを添えて～	僕たちはバスタで橋をつくり、それに荷重をかけてどれくらい耐えられるのかという実験を行いました。この発表では今回の実験の経過と考えたことについて発表します。余ったバスタはおいしくいただきました。
×探究Ⅱ	202	C13	地域社会と航空のかかわり	伊丹空港と地域社会のかかわり方について調べた。それをもとにして県伊丹が伊丹空港と繋がるような方法を考えた。ほかの地域と空港の関係を調べて、繋がる方法をさらに調べた。繋がるようにする。
×探究Ⅱ	202	C14	部屋で快適に過ごすためには	どうすればエアコンなどを使わずに寒い部屋で暖かく過ごすことができるのか、というテーマを設定し解決方法を探索します。この探索からSDGsの「気候変動に具体的な対策を」の解決につながるのではないかと考えます。
×探究Ⅱ	201	C15	生ごみを減らすためにはどうしたらよいか	日本はゴミ問題が多いと思いませんか?私たちはそう思いました。なので世界と比べた日本の生ごみの現状を調べ、どうしたら少しでも減らせるのかを考える。
×探究Ⅱ	201	C16	海面上昇の対策とこれからの日本	海面上昇に対する企業の対策について調べて、結果、再生可能エネルギーを使って二酸化炭素の排出量を削減していることが分かった他の国に移民の要請や沈んだ時の対策として新たな職業などの対策も考えている
×探究Ⅱ	200	C17	プラスチックの代替品が及ぼす海洋への影響	プラスチックストローを紙ストローに変更してどのくらい環境改善に貢献するのかを調べました。2つのストローの利点、欠点を比べ環境負荷に大きな差はないことが分かったので、実験を通してより環境に良いプラスチックストローの代替品を調べました。
×探究Ⅱ	200	C18	農業を使わない害虫対策	私たちの班は、ニュースなどで農業による環境、そして人体への悪影響が問題となっていることを知り、身近なもので環境や人体に優しい害虫対策の方法について考えました。
×探究Ⅱ	308	C19	ゴーストギアの海洋生物に与える影響とその対策	私たちは、海洋生物への被害が深刻なゴーストギアに注目した。現状を調べ、日本と世界に比べ小規模での対策が多く、ゴーストギアの知名度も低いことが分かった。そのため知名度を上げることが対策の一つになる。
×探究Ⅱ	308	C20	プラスチックが海に与える影響について	近年、海洋汚染が問題となっている。その原因の一つとしてプラスチックごみが魚の体内に入ることがあげられる。僕たちはそのプラスチックが魚にどのくらい影響を与えているか、実際に釣りに行って調査してみました。
×探究Ⅱ	307	C21	仲が悪くなるとは?	皆さんも一度は「けんか」をしたことがあるのではないのでしょうか?なぜそのようなことが起きるのか、どうすれば防げるのか……ここではそんな身近なことをテーマに研究しました。良好な人間関係を作りませんか?
×探究Ⅱ	307	C22	伊丹市での南海トラフ大地震に対する避難経路の揭示	日本で80%の確率で起こるとされている南海トラフ大地震。我々が住むここ伊丹市でも最大震度6強の地震が起きると予測されている。ここでは南海トラフによる地震の被害と二次災害の予想をもとに最適な避難経路を揭示します。
×探究Ⅱ	306	C23	～海洋ごみ削減のためにわたしたちにできることは～	海洋ごみが人体や環境に及ぼす影響と企業の取り組みを可視化し、そこから自分たち高校生と、その過程ごとにごみ削減方法を見出し、共有することでより効果的な海洋環境の改善を目指す。
×探究Ⅱ	306	C24	県立伊丹から社会へ～屋上緑化の効果～	皆さんは屋上緑化を知っていますか?屋上緑化には断熱などの効果がありますが、現在あまり普及していません。そこで本当に効果があるのかを確かめるため、木箱を家に見立てた屋上緑化の実験を行いました。
×探究Ⅱ	305	C25	昆虫が君の筋肉に!!	私たちは、昆虫食と一般的なお肉、どちらのほうが優れているのかについて探索しました。

3rd・7thラウンド				
属性	教室	グループ番号	発表タイトル	発表要旨
×探究Ⅱ	305	C26	水道水をもっと飲んでもらうために	安全に水道水が飲める日本で、私たちはボトル飲料水を選ぶことが多いのはなぜか。その原因を考え、ボトル飲料水が多く飲まれる理由を探る。
×探究Ⅱ	304	C27	猪名川に蜚が生きる川づくり	私たちは猪名川に蜚が生息していない原因は水質にあると考えました。特に川のpH濃度が高く、水が十分にきれいではないことが、蜚やその餌となる生物の生態を妨げていると考えられます。
×探究Ⅱ	304	C28	「海はゴミ箱じゃない!!!」～ユニークなゴミ箱で考える～	私たちは漂着ゴミを減らすために調査を行い、街でポイ捨てされたり放置された家庭ごみが川を通過して海に流れ着くと分かった。そこで河川数のゴミ削減が重要だと考え、バスケットゴールと投票を組み合わせたゴミ箱について組みました。
×探究Ⅰ	303	C29	日本酒造り体験	体験することで日本酒についてより知ってもらう機会を設ける
×探究Ⅰ	303	C30	儲かるためにはどうすればいいか	農業が儲かるためにはなにを改善するべきかを調査する
サイエンス×探究Ⅰ	302	C31	コミュニティで住みやすい街づくり	最近高齢者が多く、孤立している人が住みにくい街になってきていると思う。なので孤立している高齢者同士の仲を深めて、住みやすく感じられる街をつくれるような企画を考える。
×探究Ⅰ	302	C32	外国人運転手への労働支援とは～in阪神バス～	私たちは今の阪神バスでの外国人バス運転手の採用について詳しく調べた。阪神バスの方々のインタビュー記事を見て、外国人バス運転手の採用にはその間を取り持つ会社やその国との協力があって成り立つことなのだと考えた。これから、私たちが他国へ寄り添う姿勢を持つことがより大事になってくると思う。
×探究Ⅰ	301	C33	子ども食堂はもう必要ない?～本当に必要な支援とは何か?～	私達は、子ども食堂がなければならないのは、現代の子育てのしづらさが原因だと考え調査した。
×探究Ⅰ	301	C34	身の回りの支援のつながり～地域との連携～	私たちは近年問題視されている高齢化問題に注目しました。この状況に対して支援でどのように解決できるのか調査します
サイエンス×探究Ⅰ	300	C35	じーばーくっく教室	商店街の空き店舗を活用し、高齢者の知恵や家庭の味を若者に伝える場を作ります。SNSでの動画配信と通じて交流を促し、希薄化する地域コミュニティを再生。温かい食事と共に、世代を超えた心の交流を目指します。
×探究Ⅰ	300	C36	エンカル消費と食生活。	国全体で問題になっている食品ロスの問題をエンカル消費と食生活という面で、解決策を考えました。
×探究Ⅰ	408	C37	子ども食堂の将来	子ども食堂がこれからどのように変化するのか
×探究Ⅰ	408	C38	中長期的な被災地支援～被災者とボランティア団体が求めるものとは～	私たちは被災地における中長期的な支援に注目した現状を調べると人手不足等が深刻であることから被災地が完全に復興するための支援が十分に行われていないことが分かった。今後は災害が発生する前の「準備対策」が必要である。
×探究Ⅰ	407	C39	しょうがい者の自己決定権	しょうがいのある人の自己決定権を守るためにどのような対策が施されているか
×探究Ⅰ	407	C40	県高食堂のフードロス	食堂にインタビューをする。
×探究Ⅰ	406	C41	将来的に子ども食堂は増やすべきか減らすべきか。ーKeep Avelageー	私達は現状増え続けている子ども食堂の必要性に注目した。調べた所子ども食堂は年々増加傾向にあるので、それはなぜなのか探るためにインタビューした。
×探究Ⅰ	406	C42	地域で支えあう心を広げよう	物価高や災害で支援が必要な人が増える中コープこうべのハート基金は地域の助け合いを支えている。今こそ一人ひとりができる形で支援に参加することが大切である
×探究Ⅰ	405	C43	農家の高齢化による人手不足	農家の高齢化が進み、若年層の就業者が不足。これにより、人手不足や生産性の低下、技術継承の問題が深刻化している
×探究Ⅰ	405	C44	相互理解と尊重に基づく異なる宗教間のガイドライン	宗教を「特別なもの」として捉えるのではなく、「日常の生活習慣の一つ」として理解を深め、トラブル回避と共生のための具体的な知識を提供すること。
×探究Ⅰ	404	C45	食文化の壁をなくそう	食のサポートを通じた栄養摂取を超えた食の安心を実況する。
×探究Ⅰ	404	C46	伝統産業の需要を高める～日本酒の魅力をもつために～	日本酒離れを解消するためにアンケート調査などで原因を探り今後日本酒に何が求められるか探究した。
×探究Ⅰ	403	C47	農家の高齢化～若者を手に入れる～	農家の高齢化という問題をインタビューやインターネットで調査して、高校や大学と連携して若者に農業について知ってもらうという解決策を得た。
×探究Ⅰ	403	C48	各宗教に配慮した食べ物の管理方法	宗教ごとに食べられるもの、食べてはいけないものが決まっている。そのため、間違ったものを食べないように管理方法や場所を決める必要があり、お互いが安心してご飯を食べれるように配慮する。
×探究Ⅰ	402	C49	Working together ～日本を支える外国人労働者～	「日本の人手不足」と、「外国人の日本語で働くことのハードルの高さ」の二点に着目し、「外国人に働いてもらうためにはどうすればいいのか」という課題の下、海外の方にSNS上で聞き取りを行った。結果、「言語・制度・文化の違いを前提とした具体的な支援と、成長できる仕組みを整えること」が重要だと分かった。

4th・8thラウンド				
属性	教室	グループ番号	発表タイトル	発表要旨
×探究Ⅱ	208	D01	ザ。～ザリガニについて～	皆さんはアメリカザリガニを食べたことはありますか？外来種を食べるのは想像つかないですね。私たちは実際に食べてみて、おいしいのかどうか検証しました。
×探究Ⅱ	208	D02	サ～海の酸性化について～	近年、地球温暖化による海洋酸性化が問題になっている。私達人間、社会はどう向き合っていくのかを中心にこの問題の重大さを話す。高校生である自分達に何が出来るだろうという疑問の答えと一緒に探究する
×探究Ⅱ	207	D03	自動車から自転車へ	今日の主要な移動手段を、自動車から自転車に転換することについて考え、健康への影響や経済への影響、環境への影響と、健康に対してどのような効果・メリットが期待できるのかについての調査
×探究Ⅱ	207	D04	海水農業～人が自然に合わせる新しい農業の形～	海面上昇への対等として海水農業について調べました。海水農業は、環境を無理に変えるのではなく、人が自然に合わせて生きる新しい社会の在り方を示す取りくみです。この発表では、その課題と可能性を明らかにすることを目的とする
×探究Ⅱ	206	D05	プラスチックの生分解性について	今回の研究では近年の研究で判明したこれまで分解されていた市販プラスチックの生分解性について先行研究の内容以上の具体的な分解条件を探すため様々な条件でプラスチックの生分解性について調べた。
×探究Ⅱ	206	D06	海のごみで学校つくってみた～海洋問題への関心を高めるために～	その机、その文房具、その制服…もとは海に流れたプラスチックかもしれません。もし、学校にあるものがゴミから生まれたと知っていたら、あなたの行動は変わりますか？
×探究Ⅱ	205	D07	ドン・キホーテは需要が無い物を見る人が多いがなぜ人気があるのか	ぼくたちはドン・キホーテがなぜ人気なのかという探求をしました。ドン・キホーテの年々の売り上げやどの世代に人気なのかをくわしく調査しました。
×探究Ⅱ	205	D08	アジアの教育について ～すべての子供が学べる未来を作る～	日本とネパールでは目指す目標が異なり日本では一人一人に合わせた学びの質の高い教育、ネパールでは全員が学ぶことのできる、学ぶ機会の多い教育を目指すことが教育環境を改善する事につながる。
×探究Ⅱ	204	D09	男女の恋愛観の違いについて	「脈ありサイン」は存在し、相手への無意識の行動(返信速度、目線)として現れる。ただし、文化や個人の性格により誤解される場合もある。サインの重なりが確度を上げると結論付けられた。
×探究Ⅱ	204	D10	すべての人に伝わる音楽とは？	音を「耳で聴く」だけでなく、視覚や振動といった多角的な捉え方へと拡張し、テクノロジーを通じて、様々な制約を抱える誰もが、自分に合ったスタイルで音楽を楽しむ方法について探求しました。
×探究Ⅱ	203	D11	〔衝撃〕YouTubeの収益化で世界の貧困が救えるのか	環境さえ整っていれば誰でも始められるYoutuberという職業。中には億万長者クラスに稼いでいる人もいる夢のようなものである。もしかしら、この性質を使って世界の貧困を救えるのでは!?様々な観点から考えてみた結果…
×探究Ⅱ	203	D12	紛争地域での医療問題を解決するために	紛争地域での医療危機について注目した。その地域の現状を調べ、日本と比較した。その結果、少しずつの寄付でも人の命を一日でも長く救えることが分かった。今後は募金などの取り組みが必要である。
×探究Ⅱ	202	D13	Cycling Tourism in INAGAWA	猪名川町にサイクリングツーリズムを取り入れることによって、サイクリングをしやすい環境作りをして人を集めて猪名川町の観光業を発展させて町の活性化をすることが目標
×探究Ⅱ	202	D14	サンロード商店街の復活	人気商店街との比較で、当商店は明るさや装飾、飲食店、客層に課題があると判明。打開策として「日本らしさ」の演出や流行店の期間限定出店を行い、話題性創出して新規客層の取り込みと、注目度向上を図る。
×探究Ⅱ	201	D15	インターネット詐欺について	「詐欺師よ、震えて眠れ」身内の被害にブチ切れた高校生が、巧妙な詐欺手口を徹底解剖！AIの違和感や「偽ロコミ」を暴き、犯人の勝ち筋をゼロにする。恐怖を煽る偽装URLをスルーし、公式へ向かう「最強の冷静さ」でネットの平和を守るのだ。
×探究Ⅱ	201	D16	日本の若者（20～30代）の「働きがい」と「働きやすさ」について	私たちは若い世代の働きがいと働きやすさについて注目しました。現状を知るために、ネットで調査しその結果、働きやすさが働きがいよりも重視されていることがわかった。今後は組織文化や評価制度がそれぞれの実現を妨げる構造を改善することが必要だと考える。
×探究Ⅱ	200	D17	ブラジル・アマゾンの森林面積を回復するためには	世界最大の森林であるアマゾンの減った面積を回復させて地球温暖化の原因の温室効果ガスの二酸化炭素の吸収に貢献する方法をブラジルの森林が減った理由や現状、過去に回復に成功した国の方法とあわせて考える。
×探究Ⅱ	200	D18	ゼロゴミ文化祭	この学校の名物行事でもある『県伊祭』でゴミがたくさん排出されているのを見て、僕たちにできることはあるのか考えました。企業が行っているリサイクルを参考に、ゴミをできるだけ多く減らします。
×探究Ⅱ	308	D19	～あなたの家、食品捨てちゃってない!?～	あなたは食品ロスについて考えたことはありますか？食品が捨てられている一方で、食品不足で困っている人たちもいます。私たちはボランティア活動を通して、食品ロスについて考えました。そのあなたの興味が食品ロス削減のきっかけになるかも?!
×探究Ⅱ	308	D20	#守る水族館 ～絶滅危惧種と出会う場所～	絶滅危惧種を主役にした、発信し欲する水族館を構想する。世界観を作りこみ、写真スポットも設置することで来館者の投稿が保全につながり、自然と命の大切さを感じ保全意識の拡散につながる場を目指す
サイエンス×探究Ⅱ	307	D21(生1)	魚と作物の関係について ～fishでfreshなお魚畑～	高校生の私たちにもできる、エコな水耕栽培のアクアポニックスを実験し、比較を行いました。そしてモツゴの有無で植物の成長に差が生まれたのかと、どの環境が一番アクアポニックスに適しているのかを調査しました。
サイエンス×探究Ⅱ	307	D22(生2)	校内における昆虫調査	本校の敷地内に生息する昆虫の生態系、それを取り巻く環境を調べ表に整理し考察した。
サイエンス×探究Ⅱ	306	D23(物)	砂時計について	今回使う物体をビーズと砂に絞って重さ、大きさ、口径の3つの点に絞って落下時間の差を比べました。
サイエンス×探究Ⅱ	306	D24(地1)	チ。～地表面の変化から地震発生源を探せ～	これから地震を引き起こす可能性がある活断層。私たちは、伊丹市にあるとされる活断層が、地表面に及ぼす影響について探究しました。未発見の地震発生源の特定といった防災的観点に繋げることを目標としています。
サイエンス×探究Ⅱ	305	D25(地2)	見えない汚染？ 砂に潜むマイクロプラスチック	マイクロプラスチックは海洋汚染の約3割を占める。従来、回収困難なサイズとされた粒子を循環型水路装置を使って実験を行った結果、砂中から多くの粒子が回収できた。今後は小型で実用的な回収装置の開発を目指す。

4th・8thラウンド				
属性	教室	グループ番号	発表タイトル	発表要旨
サイエンス×探究Ⅱ	305	D26 (化)	コンクリートをコーティング～酸性雨からコンクリートを保護～	塩分チャージをロウとマニキュアでコーティングし、異なる濃度の塩酸と雨水に5日間浸し、ロウとマニキュアはそれぞれの酸性溶液から保護をできるのか、また保護できる成分を調べられるのかという実験を行いました。
サイエンス×探究Ⅱ	304	D27 (ヒ1)	ばいっとなし～お菓子包装から考える行動デザイン～	登下校路に散乱する個包装ゴミは景観と環境をそこなう。素材変更だけでなく行動変容が必要だと考え、ゴミを入れたくなる包装を提案し、身近なお菓子から環境問題の解決を目指す。新たな視点を示す取り組み。
サイエンス×探究Ⅱ	304	D28 (ヒ2)	oini	里山体験アクティビティ
サイエンス×探究Ⅱ	303	D29 (ヒ3)	Re:Closet～服の命をつなぐ～	私たちは普段皆さんが身につけているファストファッションが引き起こす環境について探究をしました。そして、不要になった服を再利用できる循環型のビジネスプランを考えました。
サイエンス×探究Ⅱ	303	D30 (ヒ4)	人間、分別してみた。	性格やゴミに例えるなんて失礼?でも超当たる!あなたの性格を「ゴミ」や「ペットボトル」に分別しちゃう前代未聞の診断サイトです。分別の悩みを笑いに变えて、地球を救うヒーローになっちゃいませんか?
サイエンス×探究Ⅱ	302	D31 (ヒ5)	空気をきれいに、街を緑に～環境ビジネスの新提案～	本発表では、植物の苗をインターネットで販売し、育てる楽しさを通して環境問題の改善をビジネスアイデアを提案する。
サイエンス×探究Ⅱ	302	D32 (ヒ6)	ゴミで地球救ってみた!	家庭などから出た有機ゴミを回収し、不毛な土地に撒き、土壌を復活させ、温暖化を防ぐ。
サイエンス×探究Ⅰ	301	D33	モバイルオーダーで食堂の混雑を減らそう	私たちは食堂にモバイルオーダーを取りこみ、食券購入や食品受け取りの際の混雑をなくするという取組を行っています。現在授業の間の10分の休みに食券を買いに行くことはできますがそれだけだと時間が足りないという問題が出てきます。そこでこのモバイルオーダーを思い立ちました。
×探究Ⅰ	301	D34	七転び八起き	障がいをもっている人に対してできることとイメージの実践と課題
×探究Ⅰ	300	D35	食品ロス禁止条例	食品ロスの実態を調べたことから、解決策などを発表する。
サイエンス×探究Ⅰ	300	D36	商店街の空き店舗を勉強スペースに	私たちの班は、「集中して勉強できるスペースがない」という高校生の悩みを解決するために、商店街の空き店舗を活用し、高校生にとって気軽に使えて、勉強に集中できるスペースを提案します。
×探究Ⅰ	408	D37	募金～ハート基金がなかったら～	私たちは身近にある災害への取り組みに注目した。現状を調べ募金で集まったお金の使い道の調査を行った。その結果ハート基金のおかげで継続的な支援ができていたと分かった。今後は認知度を高める取り組みが必要である
×探究Ⅰ	408	D38	障がい者の幸せ、私たちの幸せ～障がい者支援の現状について～	障がい者支援は現在、どうなっている?
×探究Ⅰ	407	D39	エシカル商品	・エシカル商品とは・エシカル商品にはどのようなものがあるのか・エシカル商品のメリットデメリットは
×探究Ⅰ	407	D40	孤食とは	子ども食堂の在り方について考えている内にそもそも孤食とはどこまでの事をいうのか、分からなくなったので調べました。子ども食堂の形態に限界があるとするならしっかりと定義を変えていかなければならないと思いました。この目的を明らかにするために、インターネット調査やアンケート調査を行い、定義や一般認識を調査しました。調査の結果から今後の子ども食堂の在り方を考えました。
×探究Ⅰ	406	D41	募金～情報発信力～	ハート基金を知らない人や使用用途がわからず募金したことがない人に詳しく知ってもらいアンケートを取ったところ知らない人が大半だと分かったためどのような方法で知ってもらうかを話し合い探求しました。
×探究Ⅰ	406	D42	設備で守る人の尊厳	障がい者も一人の人。入浴などの設備は“人”としての生き方を形作る――。
×探究Ⅰ	405	D43	国境を越えて、やさしく暮らす多文化シェアハウス ～違いを楽しむ暮らしのルール～	近年、留学生や外国人労働者の増加により、多文化シェアハウスが増えている。しかし、言語・生活習慣・価値観の違いから、すれ違いやトラブルが起こりやすいのも事実である。そこで「違いをなくす」のではなく、違いを前にした暮らし方を考える必要がある。
×探究Ⅰ	405	D44	食文化交流会～人と人をつなぐ食～	月一回に食事をを行い、外国人労働者の郷土料理をみんなで楽しみ、交流を楽しむ。具体的な政策は周りの人にアンケートを取った。
×探究Ⅰ	404	D45	若い世代に日本酒に日本酒の魅力を伝えて伝統を継承するためには?	100年後に伝えるために日本酒の「味」を追求します!
×探究Ⅰ	404	D46	農業を脅かす害獣被害～現場で深刻化する新たな課題～	野生鳥獣による被害額が年間164億円もあることを真切に受け止め、どうすればもっと農家の方が楽に仕事ができるのかをインタビューを通じて具体的に方法考えた。結果、獣の荒らしのみならず他にも様々な課題があることが分かり、もっと根本的な解決が必要だと分かった
×探究Ⅰ	403	D47	食事を人間関係の一步にする	シェアハウスでは孤食が問題になっているので、全員で集まって食事をする時間を設けてみる。こうすることでコミュニケーションをとるきっかけをつくり、ストレス軽減や良好な人間関係の構築に貢献できる。
×探究Ⅰ	403	D48	言語の壁を乗り越えるには	どのような情報をワークブック内に書き入れると外国人にとって役立つものになるか考える。→英語版ワークブックの作成
×探究Ⅰ	402	D49	日本酒と若者の距離～身近にするための可能性を探る～	日本酒をもっと身近に飲みやすくする